

2015年1月15日

各 位

株式会社 クレハ

塩化ビニリデン樹脂（PVDC）増強設備の竣工式を開催

株式会社クレハ（本社：東京都中央区、社長：小林 豊）は、主力生産拠点であるいわき事業所（福島県いわき市）において、本日午後、内堀雅雄福島県知事をはじめとする地元関係者および建設工事関係者を招いて、塩化ビニリデン樹脂増強設備の竣工式を開催しましたので、お知らせいたします。

当社の塩化ビニリデン樹脂事業は、戦後間もない1949年に研究開発を開始、1950年には錦工場（現いわき事業所）でパイロットプラントが稼働し、塩化ビニリデン樹脂を合成繊維に加工する事業からスタートしました。その後、業務用包装フィルムや家庭用ラップの生産に使用する原料樹脂としての需要が拡大し、現在では年間約3万トンの塩化ビニリデン樹脂を生産しています。

いわき事業所で生産された塩化ビニリデン樹脂は、樹脂加工事業所（茨城県小美玉市および兵庫県丹波市）とKUREHA VIETNAM CO.,LTD（ベトナム・ビエンホア市）に送られ、それぞれ家庭用ラップ「NEW クレラップ」、魚肉ソーセージ等の包装フィルム「クレハロン」など、暮らしに欠かせない製品に加工されています。また、一部は中華人民共和国の豚肉ソーセージ用包装フィルム製造会社に原料樹脂として輸出されています。

塩化ビニリデン樹脂は、熱に強く、酸素や水蒸気を透過しにくい性質を持つことから、食品を包んで保存する材料として適しており、安定的に需要が拡大してきました。今後もアジアを中心として、ソーセージ用包装フィルムや家庭用ラップなどの需要の伸びが見込まれることから、新たに年産3万トンの塩化ビニリデン樹脂製造設備を建設することとし、2013年3月に着工しました。

建設工事は順調に進み、2014年9月に完工、その後の試運転を経て、本日の竣工式開催となりました。増強設備の商業運転開始は、2015年1月下旬を予定しております。

当社は1944年の創業以来、塩化ビニリデン樹脂をはじめ、人々の暮らしや環境に有益な製品を独自の技術で産み出すことを企業のDNAとしてきました。当社はこれからもマーケットのニーズを的確に捉えながら“ものづくり”の力を磨き、安心・安全で高品質のスペシャリティ製品をグローバルに供給してまいります。

【塩化ビニリデン樹脂増強設備の概要】

- ・所在地：福島県いわき市錦町落合 16 いわき事業所内（既存 PVDC プラント隣接地）
- ・設備能力：30,000 トン／年（増強分）
- ・設備投資額：134 億円（予定額）

☆ 本設備増強は“ふくしま産業復興企業立地補助金制度”の対象事業として福島県に申請しております。



<増強設備外観>

(参考)

塩化ビニリデン樹脂の主な用途



NEW クレラップ



魚肉ソーセージ、チーズ

以上

[本資料に関するお問い合わせ先] 広報・IR部 TEL：03-3249-4651